

チャールズ・D・ファーガソン米国科学者連盟（FAS）理事長 御略歴

- ・ 米国科学者連盟（FAS）理事長。FAS は、1945 年、マンハッタンプロジェクトに従事した原子力科学者によって設立され、科学と国際安全保障政策との間を取り持つ組織。
- ・ FAS 以前は、米国外交問題評議会（CFR）にて Philip D. Reed 科学技術上席フェローを務めた。
- ・ CFR 以前は、レジデント科学者としてモントレイ国際問題研究所の核不拡散研究センター（Center for Nonproliferation Studies: CNS）に在籍し、William Potter 氏と共同で「The Four Faces of Nuclear Terrorism (Routledge, 2005)」を執筆。
- ・ 同氏は 2003 年に発行された「Commercial Radioactive Sources: Surveying the Security Risks」の主要著者であり、これは汚染爆弾（dirty bomb）の脅威に関する 9-11 後初の詳細な報告書となっている。同報告書は、2003 年の健康物理学学会による Robert S. Landauer Lecture Award を受賞。
- ・ 同氏は米国国務省の核セキュリティ上席コーディネーター・オフィス（Office of the Senior Coordinator for Nuclear Safety）にて物理科学者として勤務。
- ・ 2011 年 6 月から 2013 年 10 月まで、マンスフィールド財団・全米科学者連盟・笹川平和財団によって設立された日米原子力ワーキング・グループの共同議長を務めた。
- ・ 2011 年 5 月、著書「Nuclear Energy: What Everyone Needs to know」が Oxford university Press より刊行。
- ・ 2013 年には、核問題に関する公衆及び政策立案者に対する啓発活動の功績より、米国物理学会のフェローに選出された。
- ・ 1987 年、米国海軍アカデミーを優秀な成績で卒業、米国海軍の原子力部隊（the U.S. nuclear-powered Navy）に従事し、1996 年、ボストン大学にて物理学の博士号を取得。